

# 2008年3月期 決算説明会

ブラザー工業株式会社

2008年4月28日

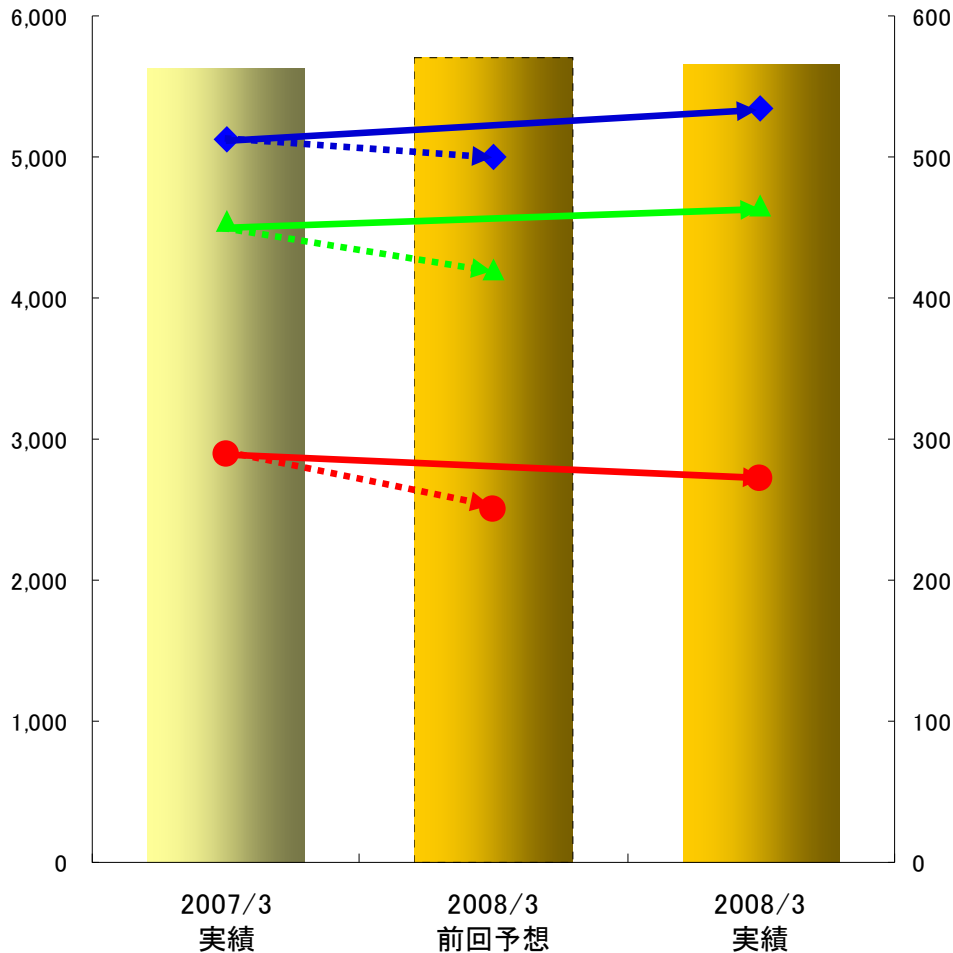
この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来の業績に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度等に関わるさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。

# 2008年3月期 実績

億円  
売上高

利益

■ 売上高 ◆ 営業利益 ▲ 経常利益 ● 当期純利益



	2008年3月期実績	対前回予想(2/1)増減		対前年実績増減	
売上高	5,664	△ 36	△0.6%	+41	+0.7%
営業利益	535	+35	+7.0%	+22	+4.4%
経常利益	465	+45	+10.8%	+11	+2.3%
当期純利益	271	+21	+8.4%	△ 18	△6.1%

(億円)

USDドル	117.00	115.56	114.13
ユーロ	150.33	162.26	161.88

## 対前回予想の主なポイント

- 売上は、主に為替の換算によるマイナス影響により、前回予想を下回る
- 利益は、売上構成改善や、販売管理費の減少に加え、為替急変が期末の評価損益に対してプラス方向に働いたことなどにより、前回予想を上回る
- 研究開発費や設備投資・償却費は、ほぼ予想通り

# グローバルビジョン21の3つのフェーズ

**Global Vision21**

- 「グローバルマインドで優れた価値を提供する高収益体質の企業」になる
- 独自の技術開発に注力し「傑出した固有技術によってたつモノ創り企業」を実現する
- 「At your sideな企業文化」を定着させる

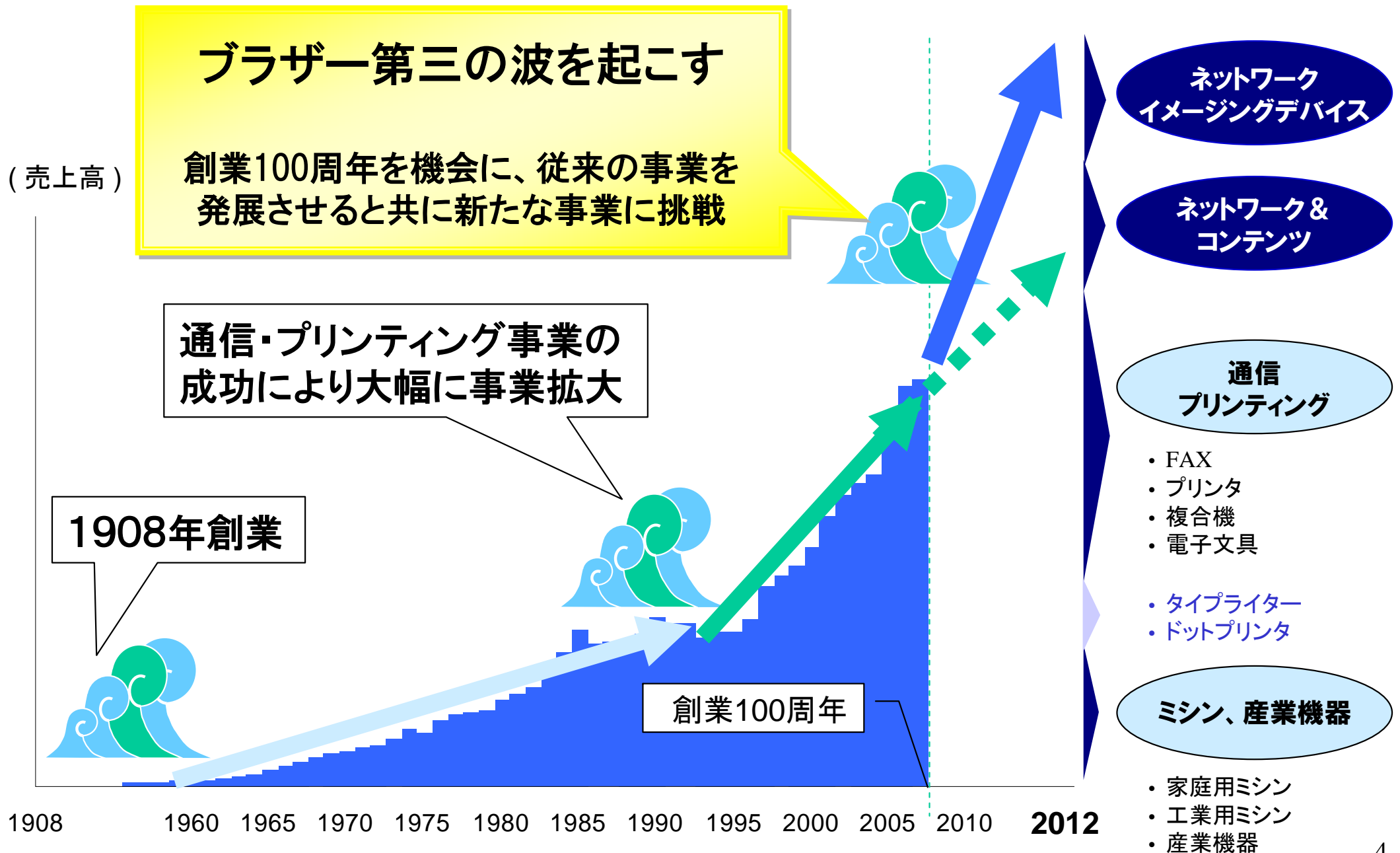
2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

## グローバルビジョン 21

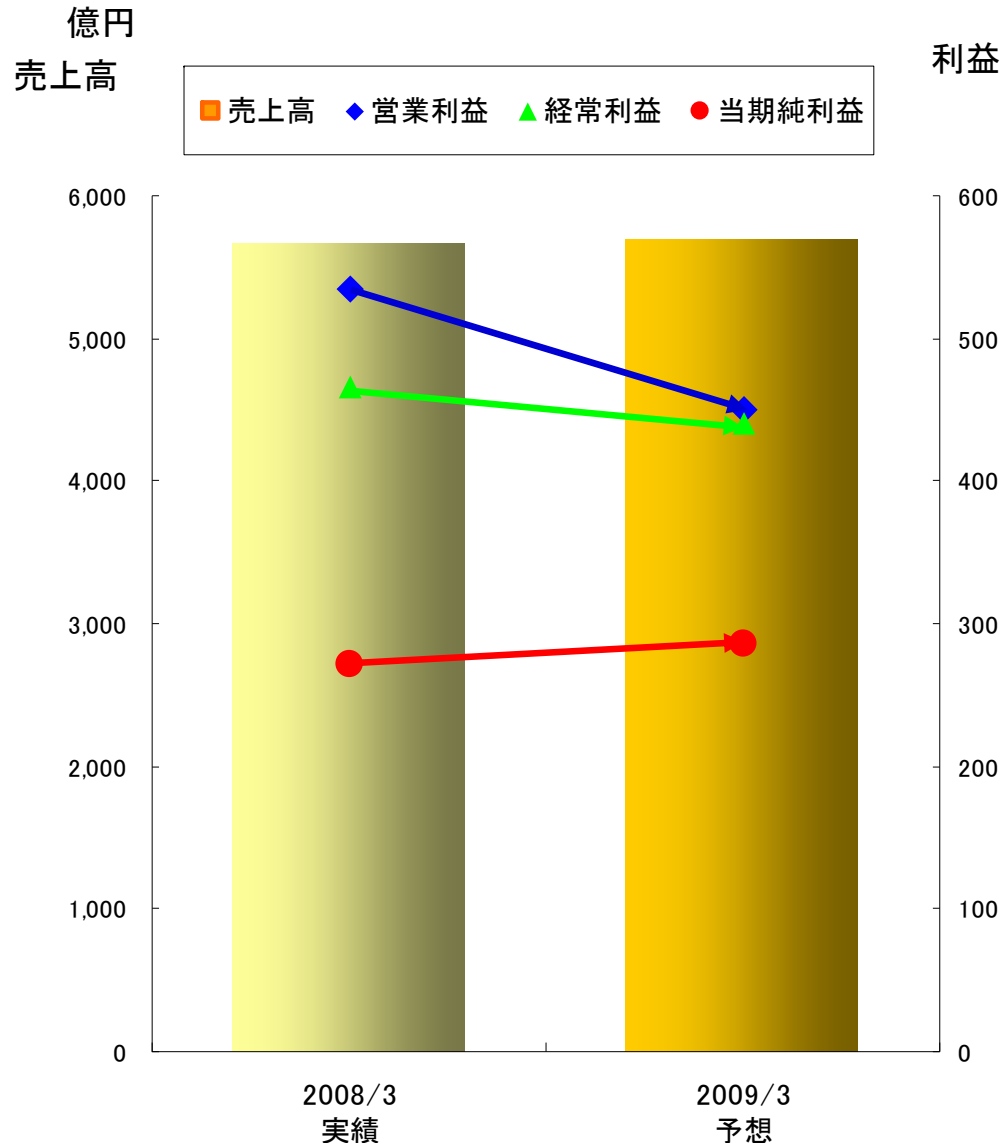
<p><b>CS B2005</b> 2004/3 – 2006/3</p> <p>高収益の継続と将来への技術投資の両立</p>	<p><b>CS B2008</b> 2007/3 – 2008/3</p> <p>成長のドライブ</p>	<p><b>CS B2012</b> 2009/3 – 2013/3</p> <p>グローバルビジョン21の実現</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="background-color: #c4c400; padding: 5px;">マイルストーン</div> <div style="background-color: #c4c400; padding: 5px;">チャレンジ目標</div> </div>
--	---	---

	(億円)	2010年度 マイルストーン	2012年度 チャレンジ目標
売上高		7,500	10,000
(内 新規事業)		(500)	(2,000)
営業利益		600	1,000

# ブラザーの歴史と新規事業の位置づけ



# 2009年3月期 予想



USドル	114.13	100.00
ユーロ	161.88	155.00

利益

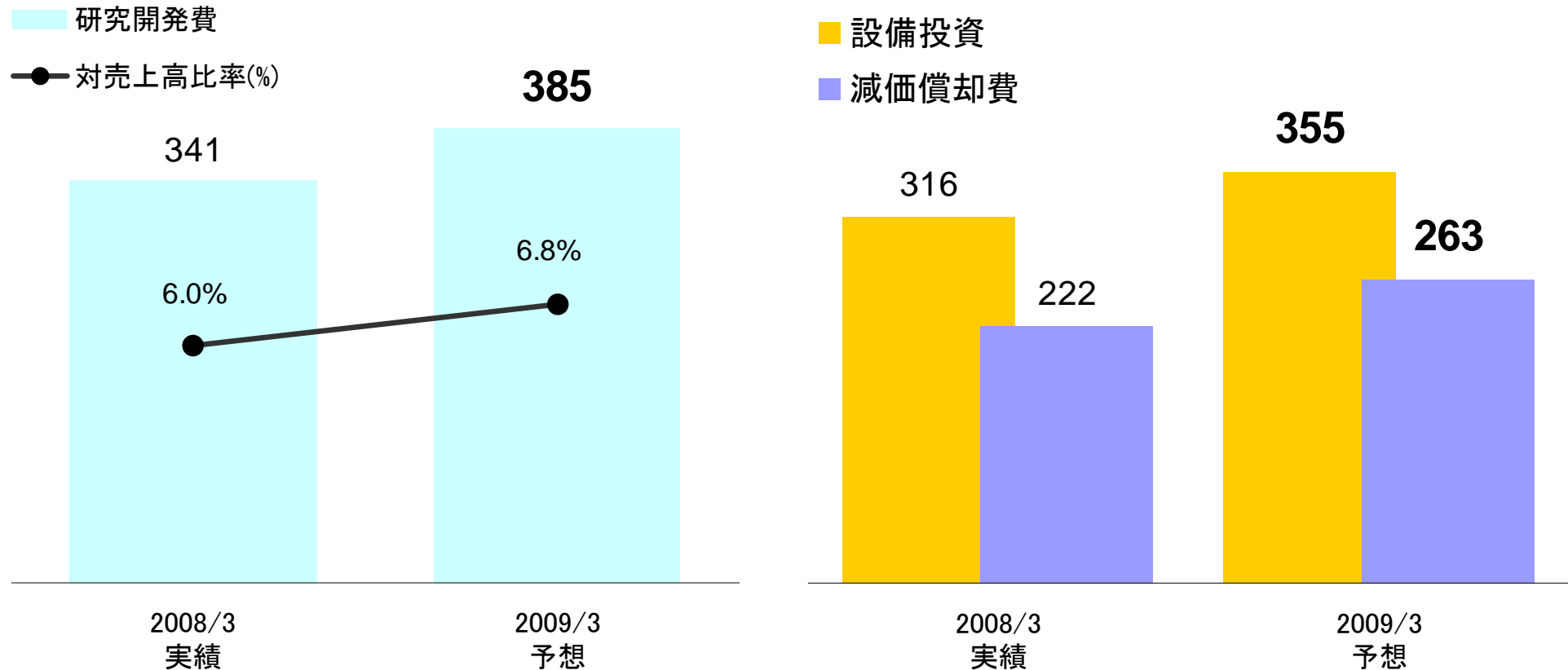
	2009年3月期予想	対前年実績増減 (億円)	
売上高	5,700	+36	+0.6%
営業利益	450	△85	△15.9%
経常利益	440	△25	△5.4%
当期純利益	285	+14	+5.1%

## 対前年実績の主なポイント

- 為替の換算上のマイナス影響がある中、カラー製品を中心に、プリンティング事業で売上拡大を目指す
- 営業利益は、為替のマイナス影響などにより、減益を見込む
- 営業外費用の減少と前年の税効果会計の影響が無くなることなどにより、当期純利益は増益を見込む

## 研究開発費

## 設備投資



- 研究開発費は、プリンティング事業の伸張と新規事業の育成・拡大のための投資を拡大
- 設備投資は、日本における拠点最適化投資のため増加

**「カラーのブラザー」を目指し施策を推進**

**コア技術開発の加速と、  
次世代の柱としての新規事業の育成・拡大**

# 「カラーのブラザー」を目指し施策を推進

速度・価格

カラーのブラザー（2012年度のイメージ）

インクジェット  
高速ラインヘッドモデル

カラーレーザー

カラーレーザーの  
積極的な拡販

インクジェット  
ビジネス系モデル

ビジネス向けを含めたインクジェット  
複合機ラインナップを拡充

インクジェット  
ホーム系モデル

Home

Home Office

Small Office

SMB

Corporate

# 「カラーのブラザー」を目指し施策を推進

## 米国で新しい店頭ディスプレイのトライアルを開始



- 約11メートルのスペース確保（約19台の製品を設置可能）
- 強力なサプライヤーとしての存在感を、来店客 及び 店舗スタッフにアピールし、ブラザーのブランド・イメージ向上
- 複合機とプリンタを一堂に展示
- 効果的な製品展示・製品説明・印字サンプルの展示



店頭イメージ

## ネットワークイメージングデバイス事業

### 提供 価値

- いつでもどこでも、  
安心・安全に、仕事ができる
- 小型・軽量・省電力
- ハードウェア、ソフトウェア、  
ネットワークが一体となった  
付加価値の創出

## ネットワーク&コンテンツ事業

### 提供 価値

- 信頼性が高く、低コストな  
大容量データ配信技術
- ユニークなコンテンツ
- コア技術、コンテンツ、顧客基盤  
を活用したサービス提供

➤ 4月に大幅な小型化を実現したメガネ型網膜走査ディスプレイの技術発表を実施  
製品化に向けた技術開発の加速を目指す

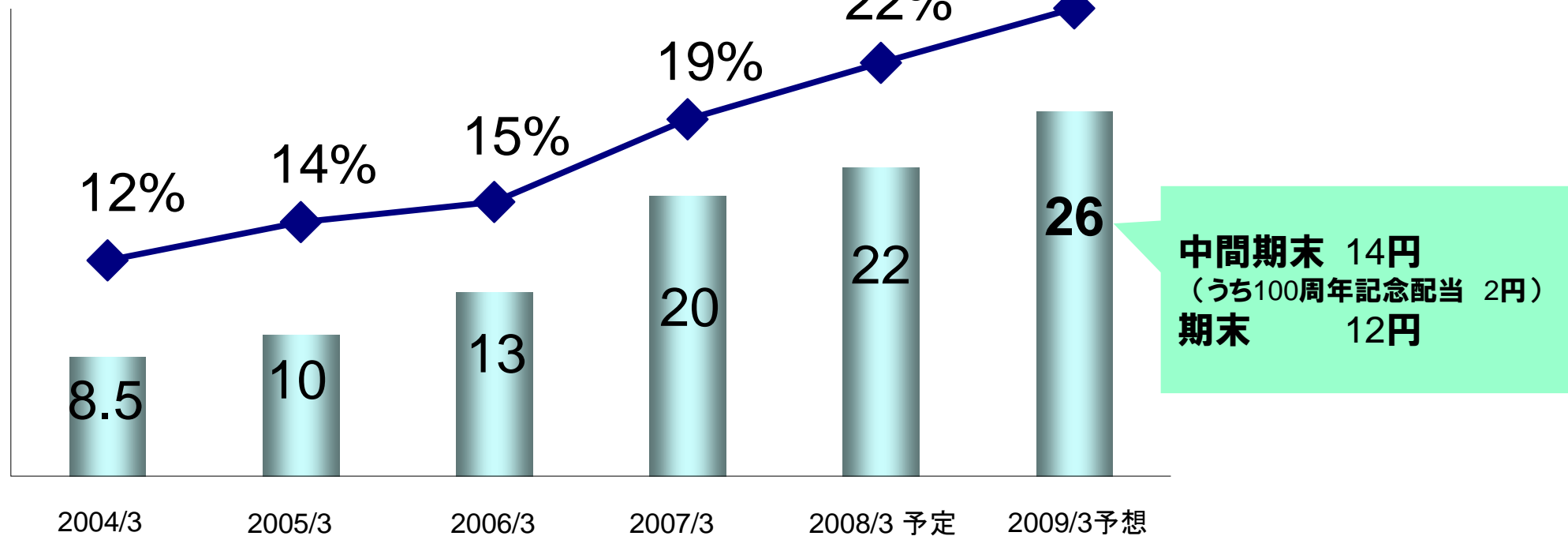


➤ 2010年度目標に向け、複数のプロジェクトの事業化を目指す

# 株主還元について

## ■ 配当の推移

- 一株あたり配当金
- ◆ 連結配当性向



## ■ 自己株式の取得

取得規模	800万株(上限) 100億円(上限)
取得期間	2008年3月28日～6月13日

# 2008年3月期の決算内容と今期の見通し

# 1. 連結決算概要<2008年3月期実績>

単位：億円

	2008/3 実績 (A)	2007/3 実績 (B)	増減額 (C) (A)-(B)	増減率 (C)/(B)	為替影響 を除いた 実質増減率
売上高	5,664	5,623	41	0.7%	△ 1.5%
営業利益	535	513	22	4.4%	
営業利益率	9.4%	9.1%	0.3%	-	
営業外損益	△ 70	△ 58	△ 12	-	
経常利益	465	455	11	2.3%	
特別損益	△ 3	3	△ 6	-	
法人税他	192	169	23	-	
当期純利益	271	289	△ 18	△ 6.1%	

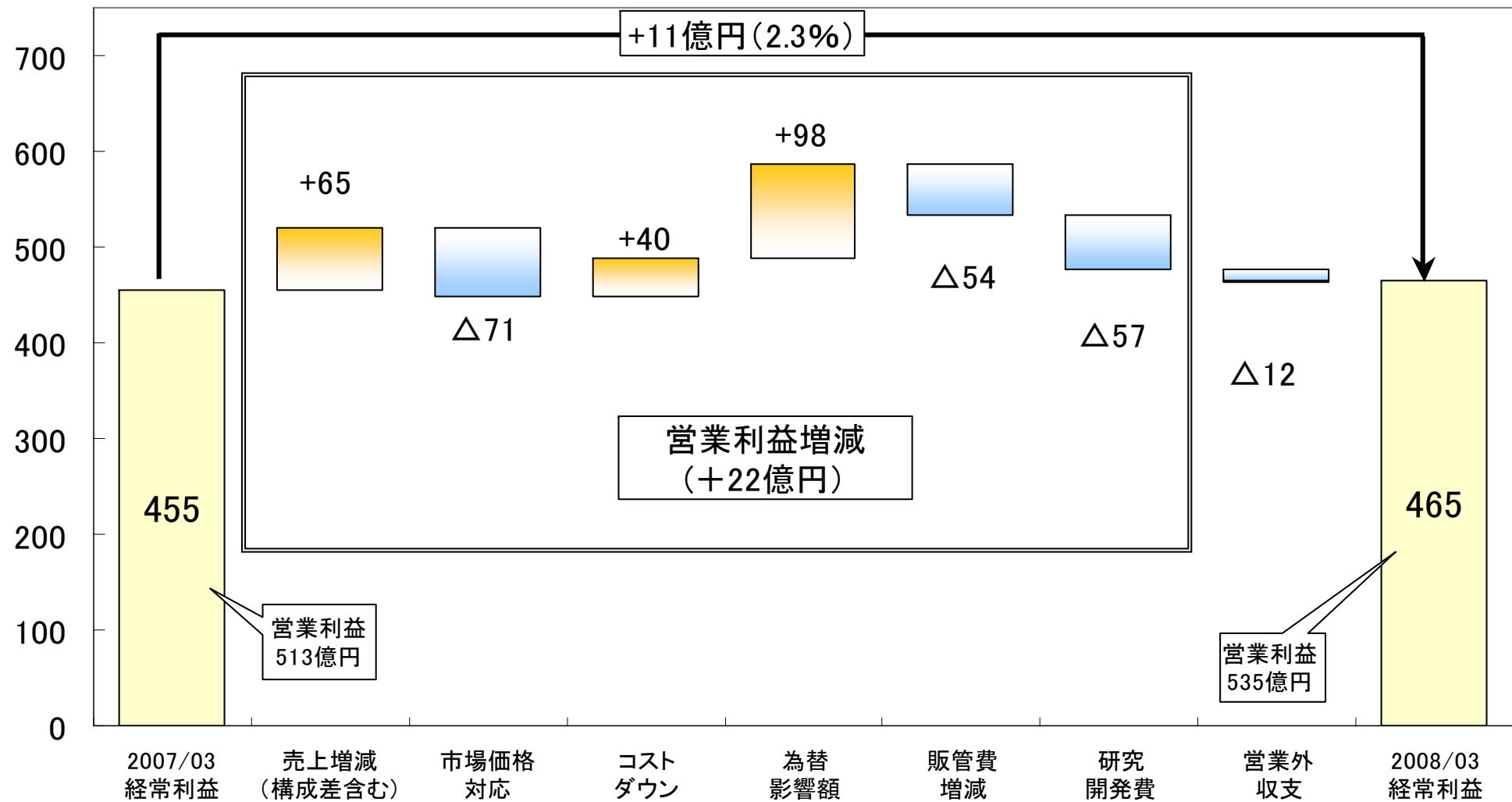
単位：円

換算レート		114.13	117.00	△ 2.87	△ 2.5%
	USD				
	EUR	161.88	150.33	11.55	7.7%

- 売上高は事業譲渡等による減収要因があるものの、為替のプラス影響もあり増収
- 営業利益は、研究開発費等の増加があるものの、売上構成と為替のプラス影響により増益
- 当期純利益は、税効果会計の影響による法人税等調整額の増加により減益

## 2. 経常利益増減要因 <2008年3月期 実績>

単位: 億円

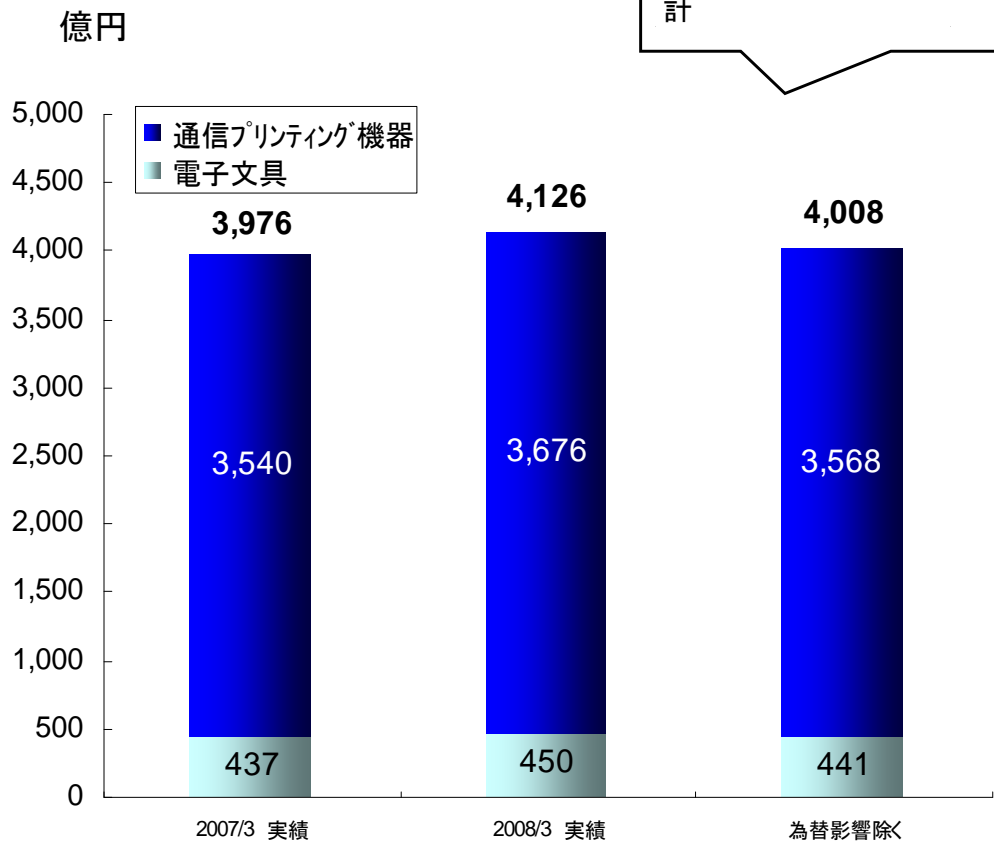


# 3-1-1. プリンティング&ソリューションズ事業 売上・営業利益 < 2008年3月期実績 >

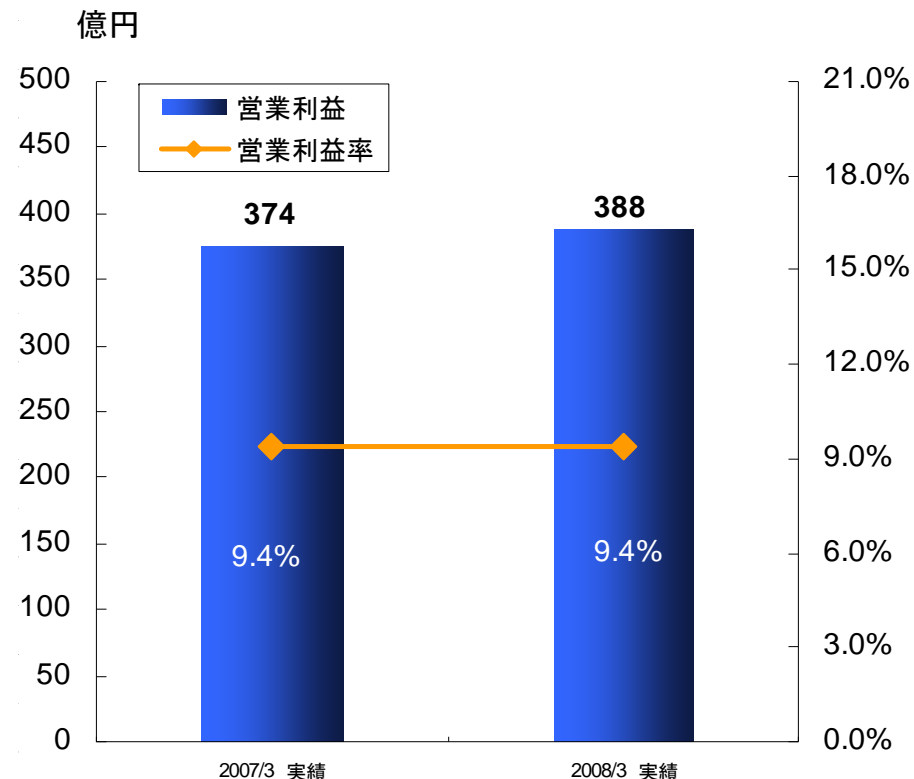
増減率(為替影響除く)

通信プリンティング機器	+3.9%	(+0.8%)
電子文具	+3.0%	(+0.9%)
計	+3.8%	(+0.8%)

## 連結売上高



## 営業利益



- 通信・プリンティング機器は、OEM向け製品やサーマル事業が減少したものの、インクジェットおよびレーザー事業の増加により、全体では前年並み
- 電子文具は前年並みに推移

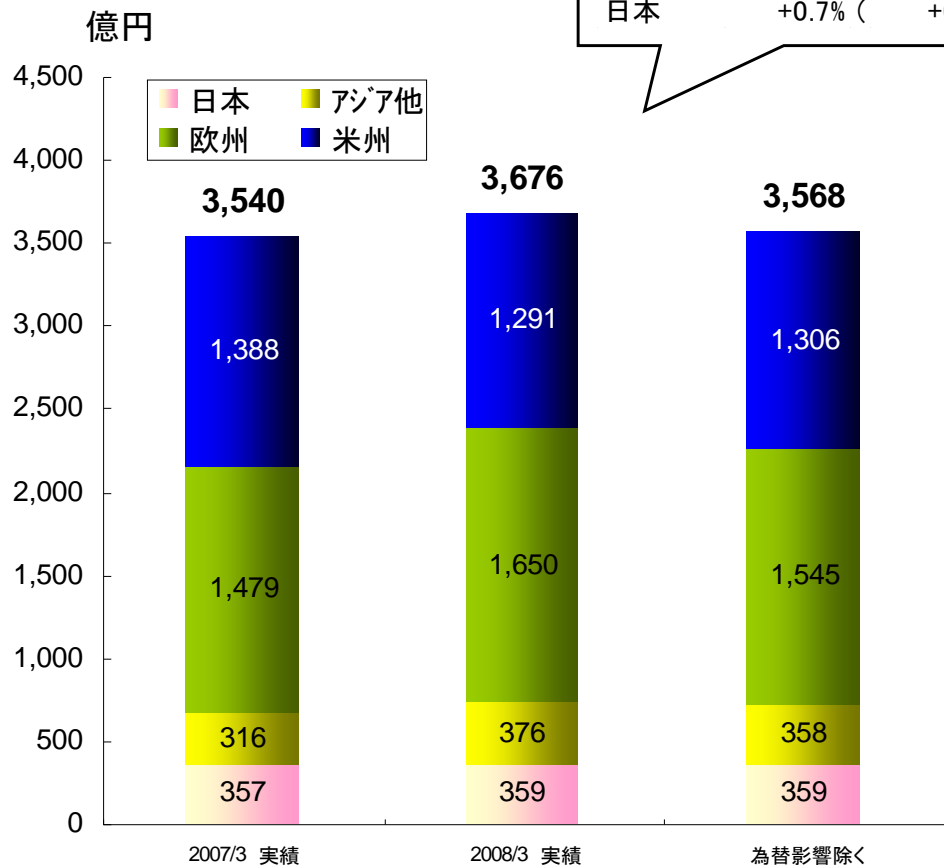
- 研究開発費等の増加があるものの、売上構成と為替のプラス影響により増益

# 3-1-2. プリンティング&ソリューションズ事業 地域別売上高 < 2008年3月期実績 >

## 通信・プリンティング機器

増減率(為替影響除く)

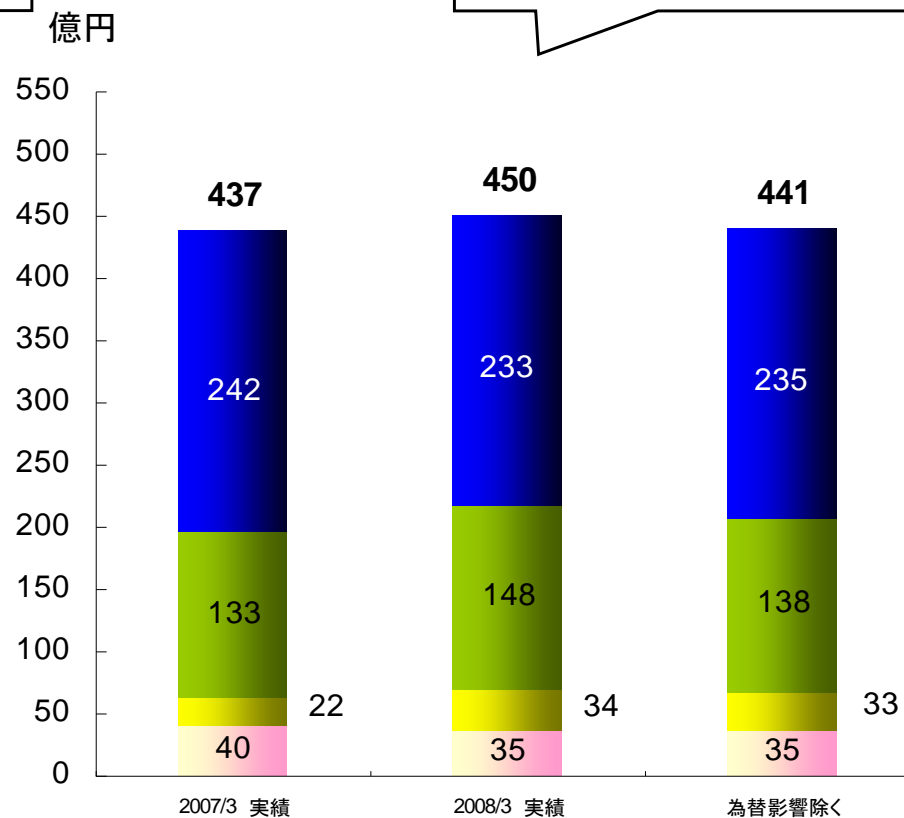
米州	△7.0%	( △5.9% )
欧州	+11.6%	( +4.5% )
アジア他	+18.8%	( +13.1% )
日本	+0.7%	( +0.7% )



## 電子文具

増減率(為替影響除く)

米州	△3.7%	( △2.8% )
欧州	+11.3%	( +4.2% )
アジア他	+54.9%	( +46.2% )
日本	△12.7%	( △12.7% )



※2007年3月期に日本出荷として「日本」に計上していた部品売上は、商流変更により、2008年3月期より「アジア他」に含めております。

➤ 米州で減収となる一方、欧州とアジアで堅調に推移

➤ 欧州とアジアで堅調に推移

# 3-2. パーソナル&ホーム事業

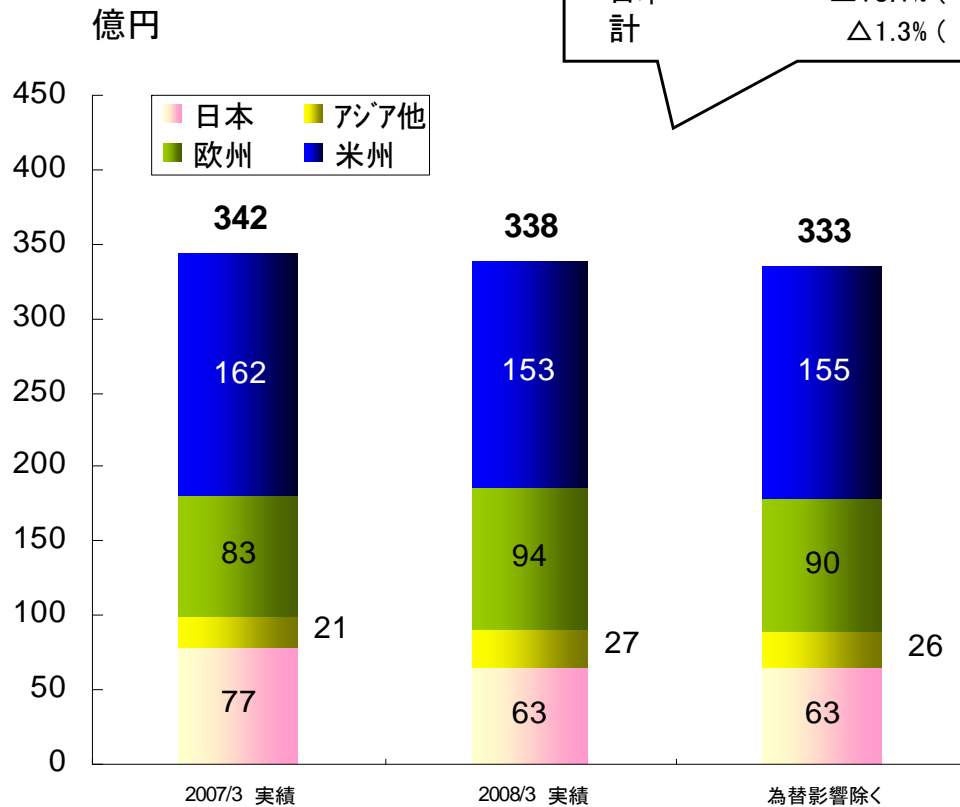
## 地域別売上・営業利益 < 2008年3月期実績 >



連結売上高

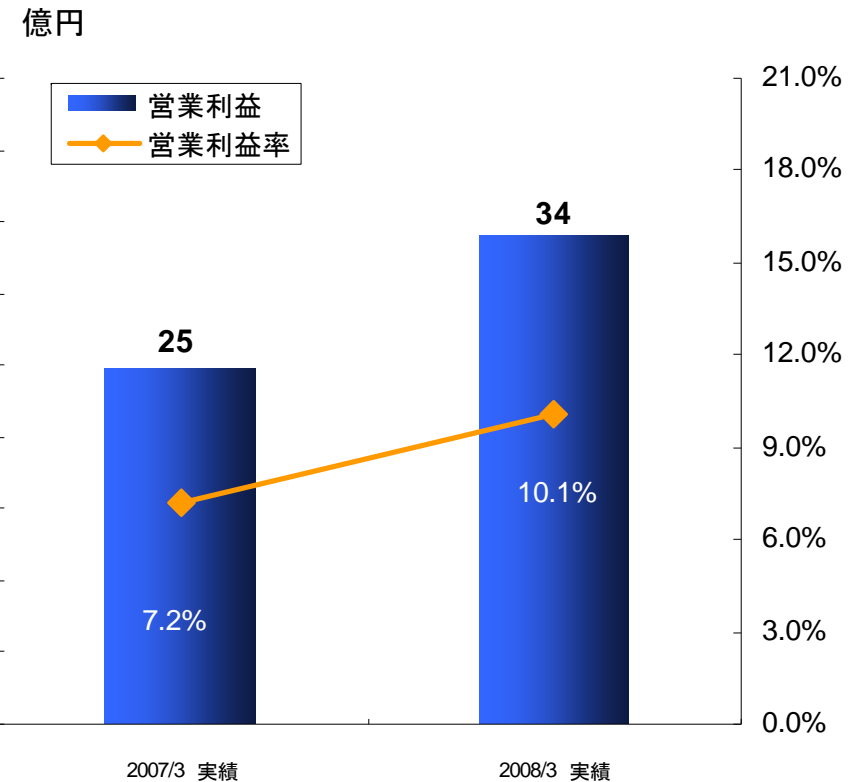
増減率(為替影響除く)

米州	△5.2%	( △4.2% )
欧州	+13.8%	( +8.2% )
アジア他	+32.2%	( +25.1% )
日本	△18.1%	( △18.1% )
計	△1.3%	( △2.6% )



➢ 主に日本で減収となったが、全体では前年並みに推移

営業利益



➢ 売上構成の改善と為替のプラス影響により増益

# 3-3-1. マシナリー&ソリューション事業

## 売上・営業利益

< 2008年3月期実績 >

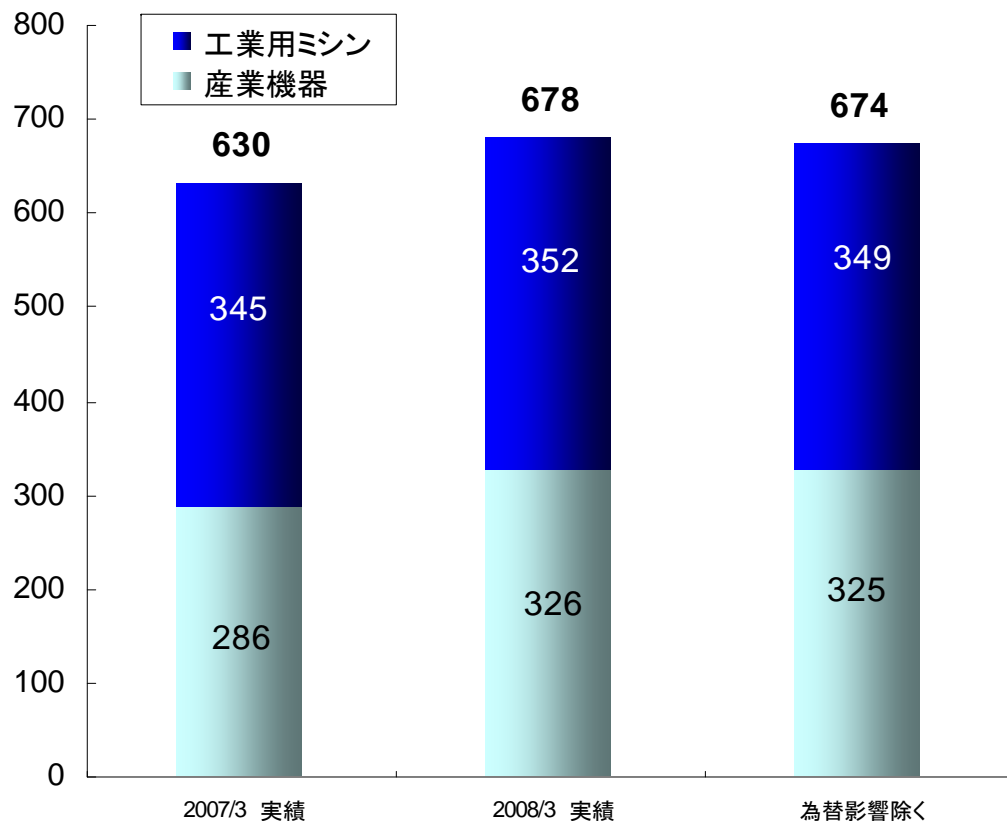
### 連結売上高

増減率(為替影響除く)

工業用マシン	+2.3%	( +1.3% )
産業機器	+14.1%	( +13.9% )
計	+7.6%	( +7.0% )

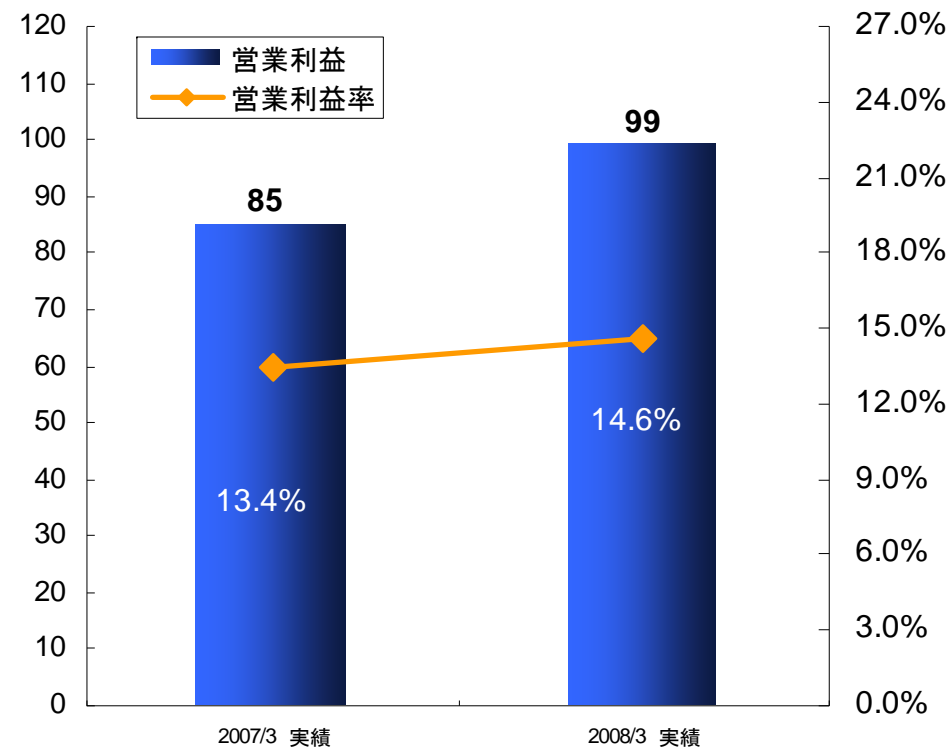
### 営業利益

億円



➤ 産業機器が好調に推移し増収

億円



➤ 増収効果と売上構成の改善により増益

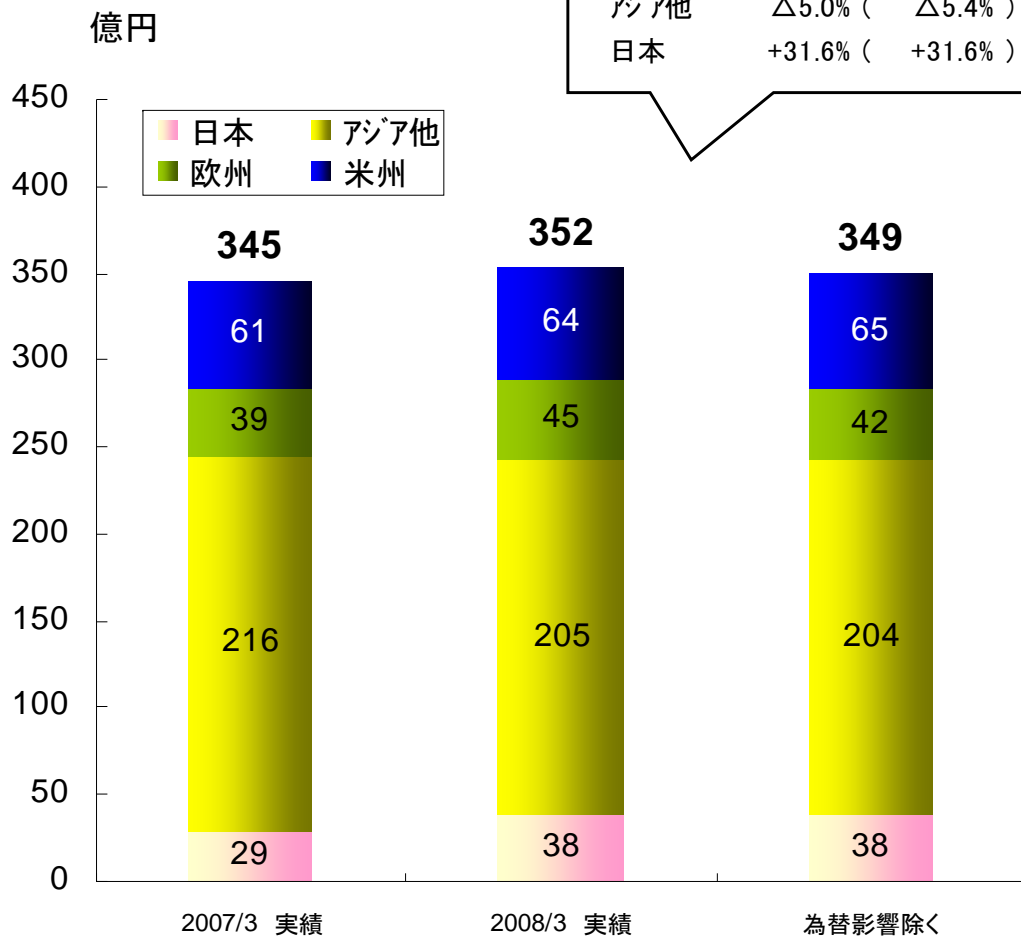
# 3-3-2. マシナリー&ソリューション事業

## 地域別売上高 < 2008年3月期実績 >

### 工業用マシン

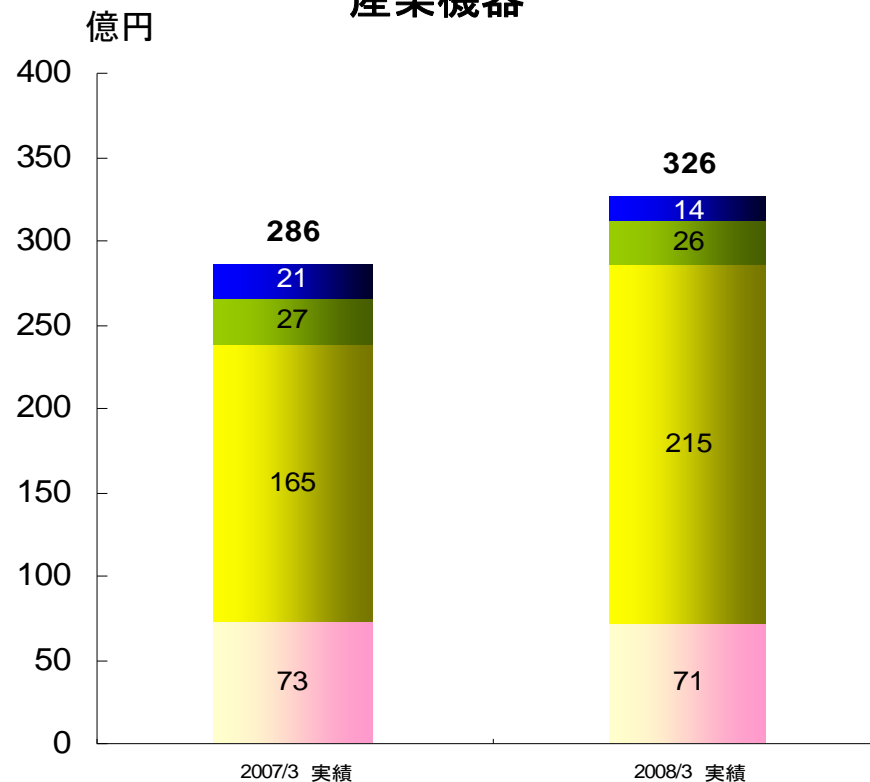
増減率(為替影響除く)

米州	+5.0%	( +6.4% )
欧州	+16.7%	( +7.9% )
アジア他	△5.0%	( △5.4% )
日本	+31.6%	( +31.6% )



➤ 主にトルコ向けで堅調に推移

### 産業機器



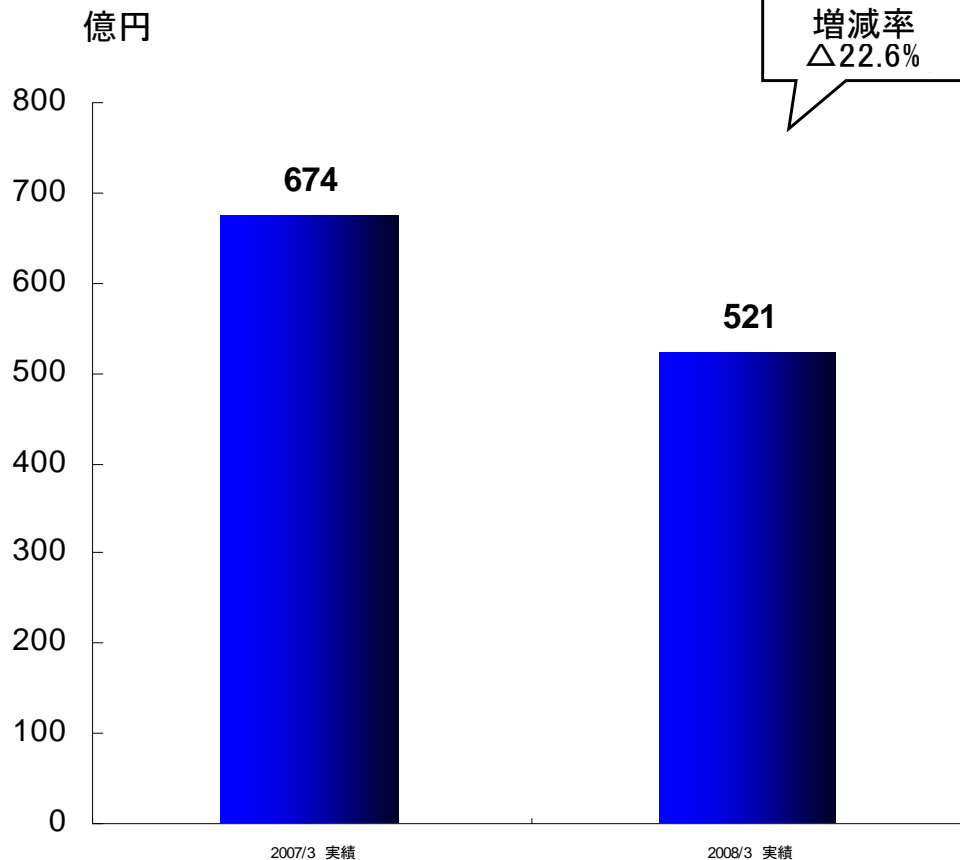
※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

➤ 主に中国向けで好調に推移

# 3-4. その他事業 売上・営業利益

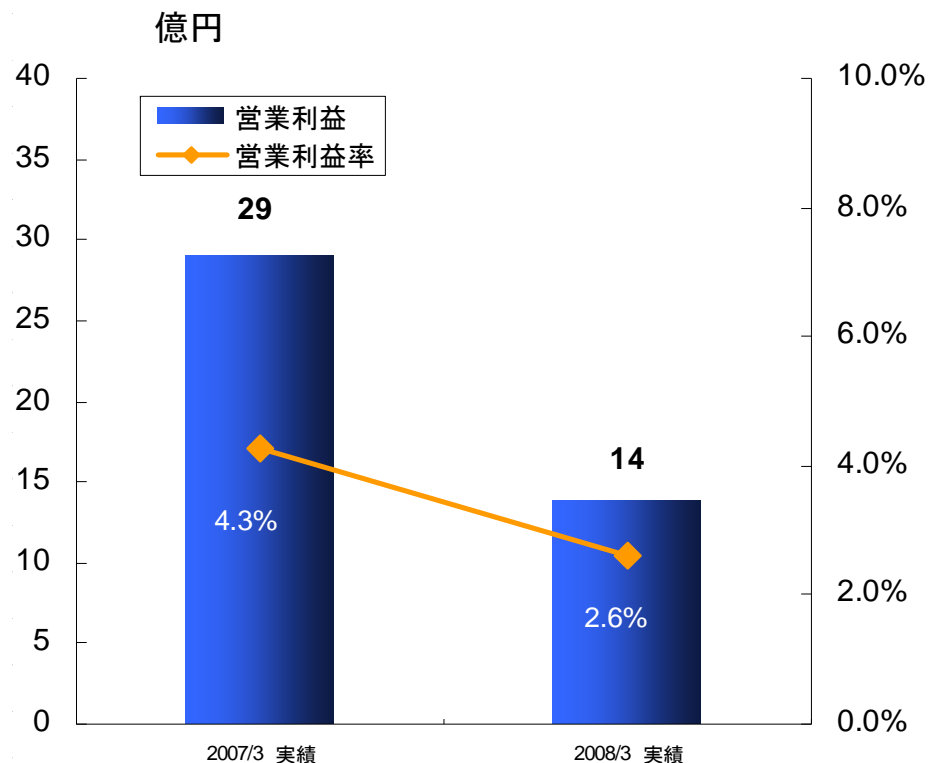
< 2008年3月期実績 >

連結売上高



➤ 訪問販売事業及びPC等販売子会社の譲渡などにより減収

営業利益



➤ 通信カラオケ・コンテンツ事業の減益と事業譲渡の影響などにより減益

※その他事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

## 4. 連結業績予想 <2009年3月期 通期予想>

単位:億円

	2009/3 予想 (A)	2008/3 実績 (B)	増減額 (C) (A)-(B)	増減率 (C)/(B)	為替影響 を除いた 実質増減率
売上高	5,700	5,664	36	0.6%	8.9%
営業利益	450	535	△ 85	△ 15.9%	
営業利益率	7.9%	9.4%	△ 1.6%	-	
営業外損益	△ 10	△ 70	60	-	
経常利益	440	465	△ 25	△ 5.4%	
特別損益	△ 5	△ 3	△ 2	-	
法人税他	150	192	△ 42	-	
当期純利益	285	271	14	5.1%	

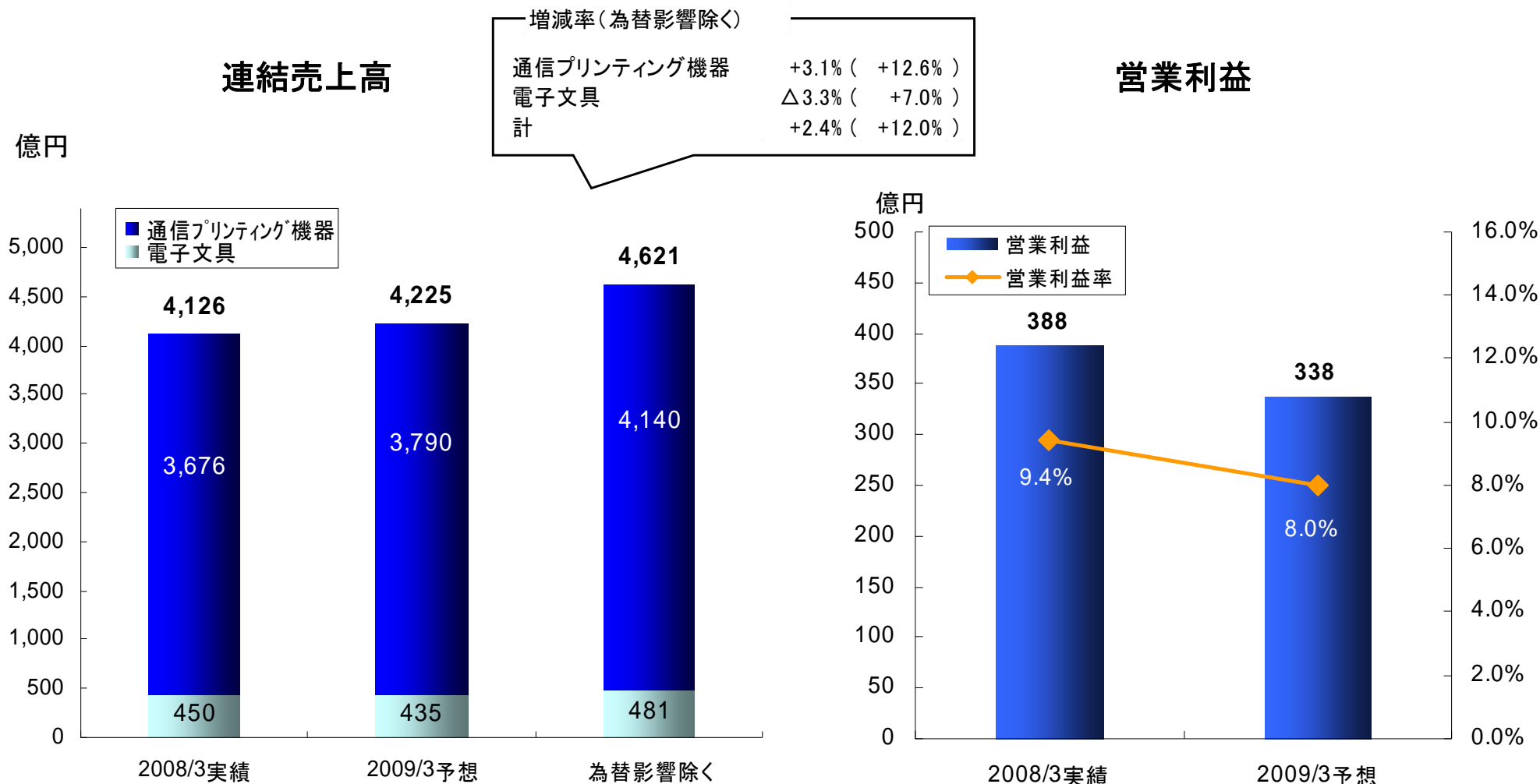
単位:円

換算レート	USD	100.00	114.13	△ 14.13	△ 12.4%
	EUR	155.00	161.88	△ 6.88	△ 4.3%

- 売上高は為替のマイナス影響があるものの、通信プリンティング機器の増加により増収となる見込み
- 営業利益は、為替のマイナス影響と研究開発費を含む販管費と償却費の増加により減益となる見込み
- 当期純利益は、営業外為替差損の減少と前年にあった法人税等調整額の影響がなくなるため増益を見込む

# 4-1-1. プリンティング&ソリューションズ事業

## 売上・営業利益 <2009年3月期 通期予想>

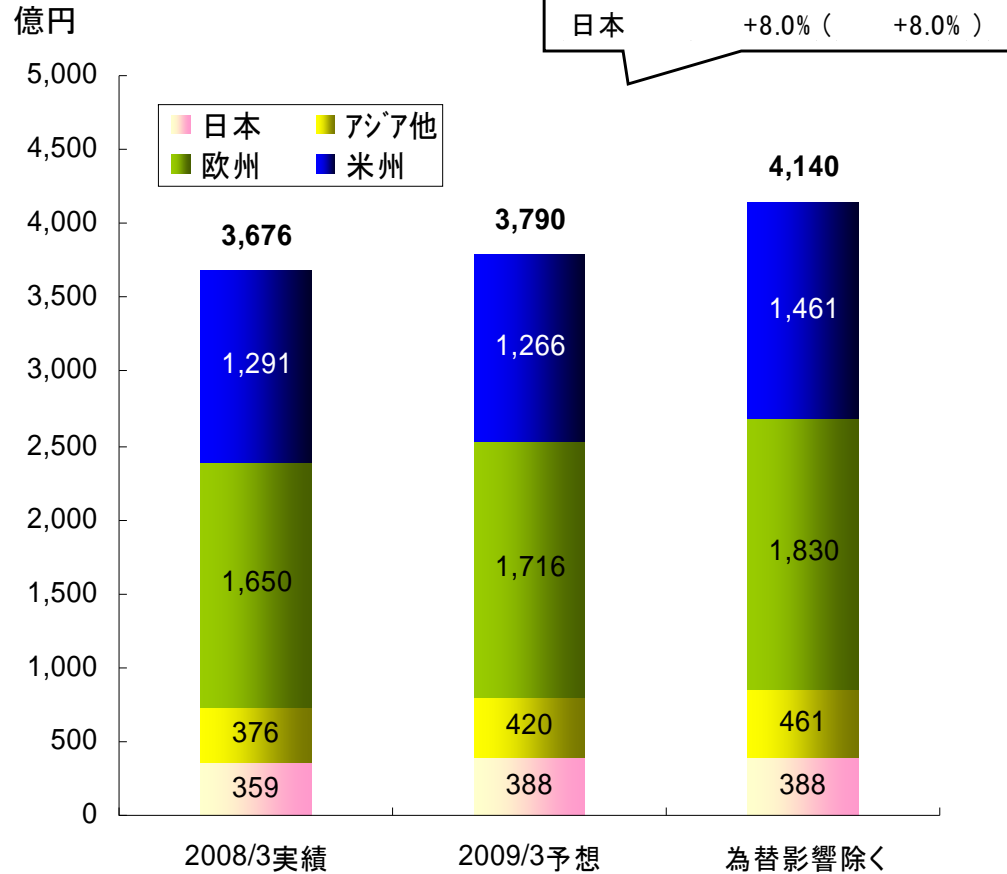


- 通信・プリンティング機器は、レーザー及びインクジェット事業での増収を見込む
- 電子文具は堅調に推移する見込み

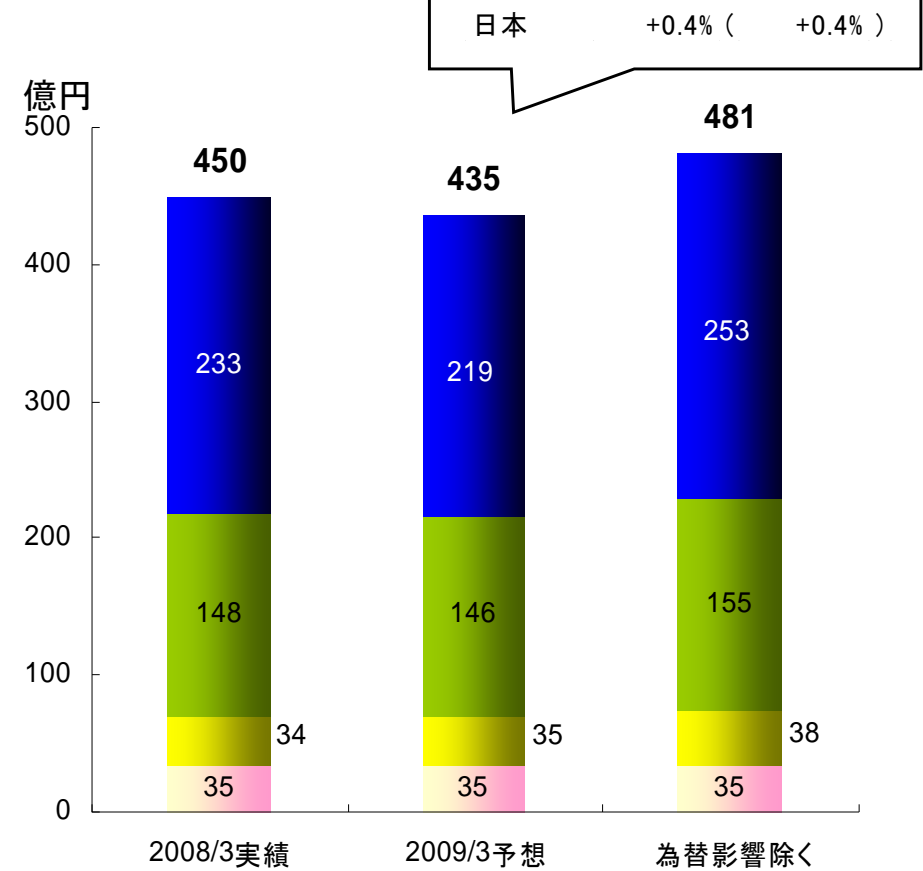
- 為替のマイナス影響と、研究開発費を含む販管費と償却費の増加により減益となる見込み

# 4-1-2. プリンティング&ソリューションズ事業 地域別売上高 <2009年3月期 通期予想>

## 通信・プリンティング機器



## 電子文具

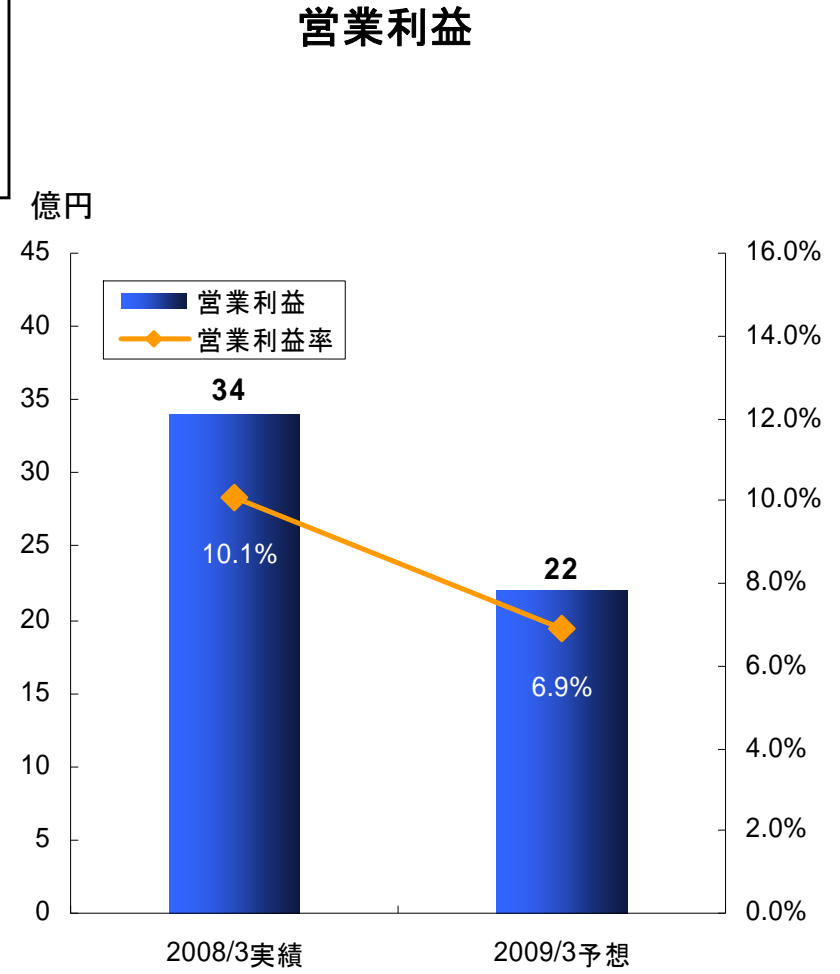
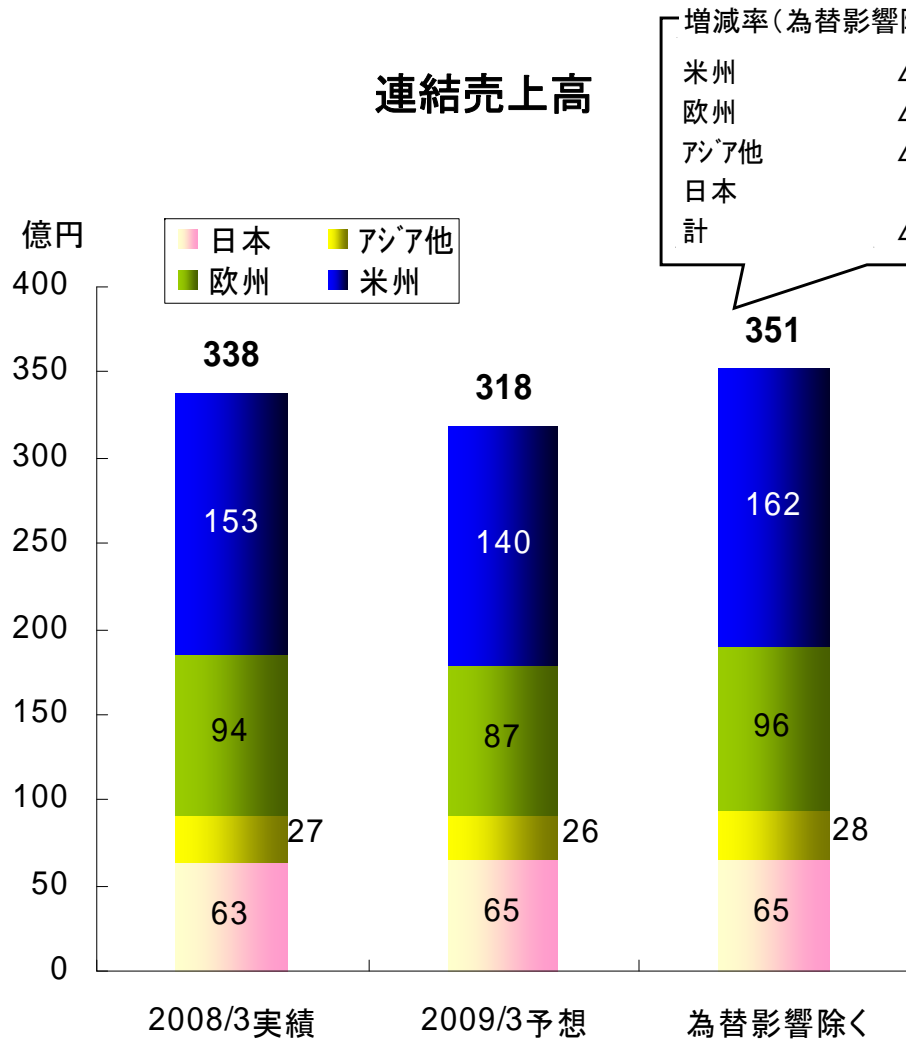


➤ 各地域で、レーザー及びインクジェット事業の増加を見込む

➤ 各地域で堅調に推移する見込み

# 4-2. パーソナル&ホーム事業

## 地域別売上・営業利益 <2009年3月期 通期予想>



➤ 各地域で前年並みに推移する見込み

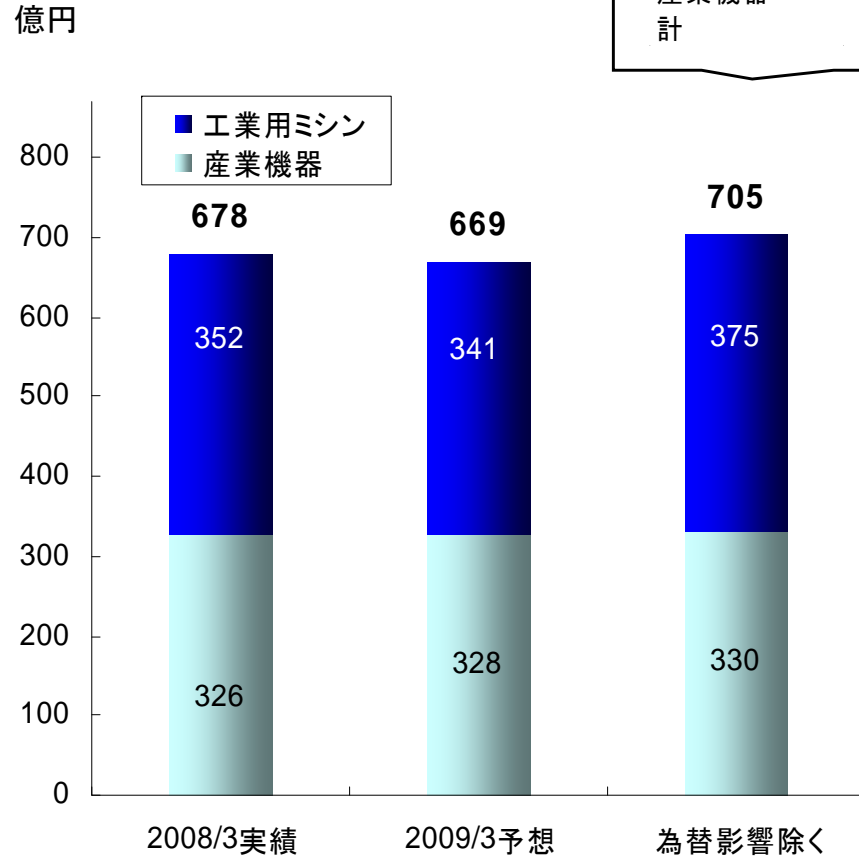
➤ 為替のマイナス影響と償却費の増加により減益となる見込み

# 4-3-1. マシナリー&ソリューション事業

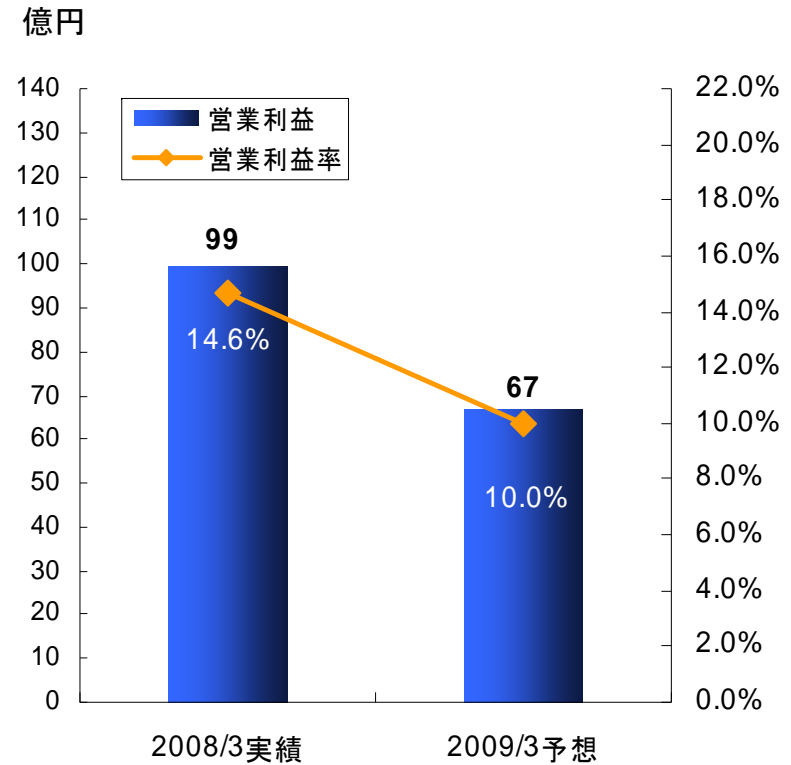
## 売上・営業利益 <2009年3月期 通期予想>

増減率(為替影響除く)		
工業用マシン	△3.2%	( +6.3% )
産業機器	+0.7%	( +1.3% )
計	△1.4%	( +3.9% )

### 連結売上高



### 営業利益



➤ 工業マシンは堅調に推移し、産業機器は前年並みとなる見込み

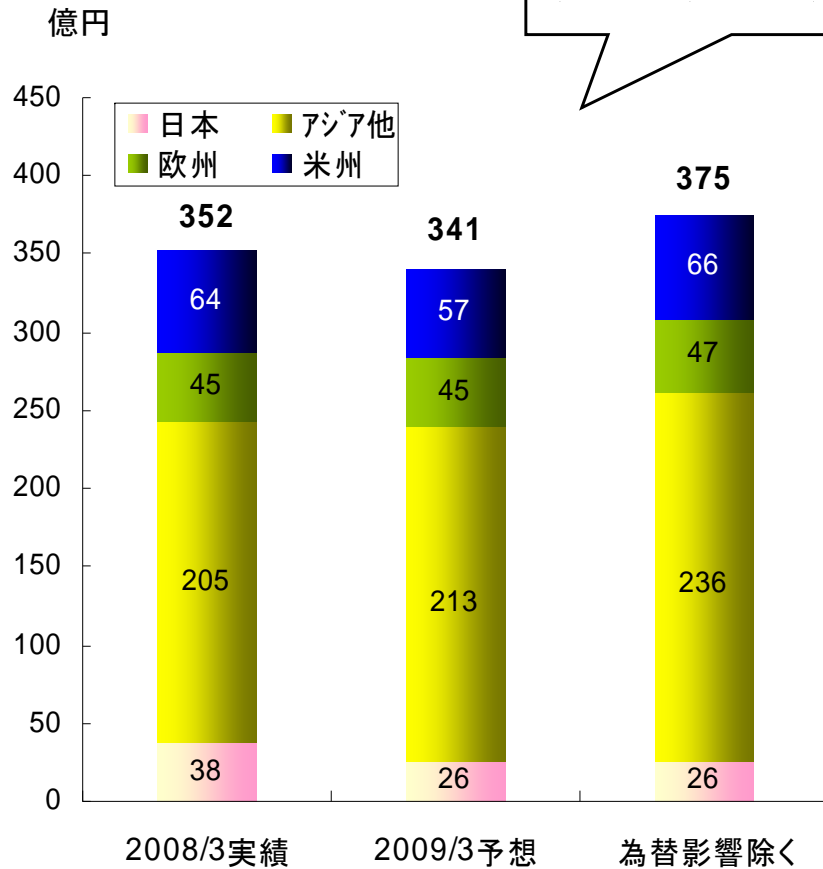
➤ 為替のマイナス影響に加え、研究開発費を含む販管費などの増加により減益となる見込み

# 4-3-2. マシナリー&ソリューション事業

## 地域別売上高 <2009年3月期 通期予想>

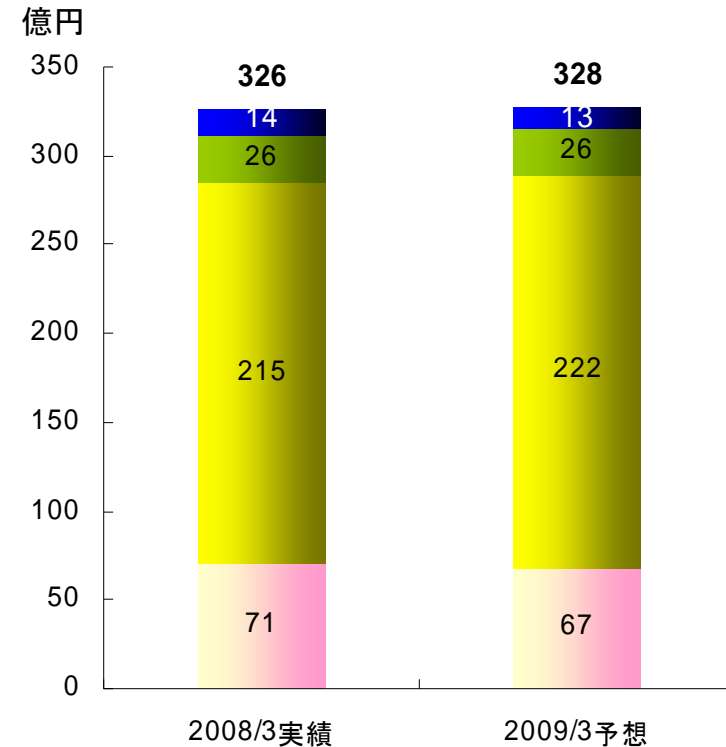
### 工業用マシン

増減率(為替影響除く)	
米州	△11.6% ( +2.1% )
欧州	△0.6% ( +4.2% )
アジア他	+4.0% ( +15.0% )
日本	△31.1% ( △31.1% )



▶ 中国で堅調に推移する見込み

### 産業機器



※産業機器については、基本的に日本から直接輸出しており、「所在地売上」が日本となりますので、日本からの仕向先地域別割合で簡便的に売上を按分して算出しております。

▶ 各地域で前年並みに推移する見込み

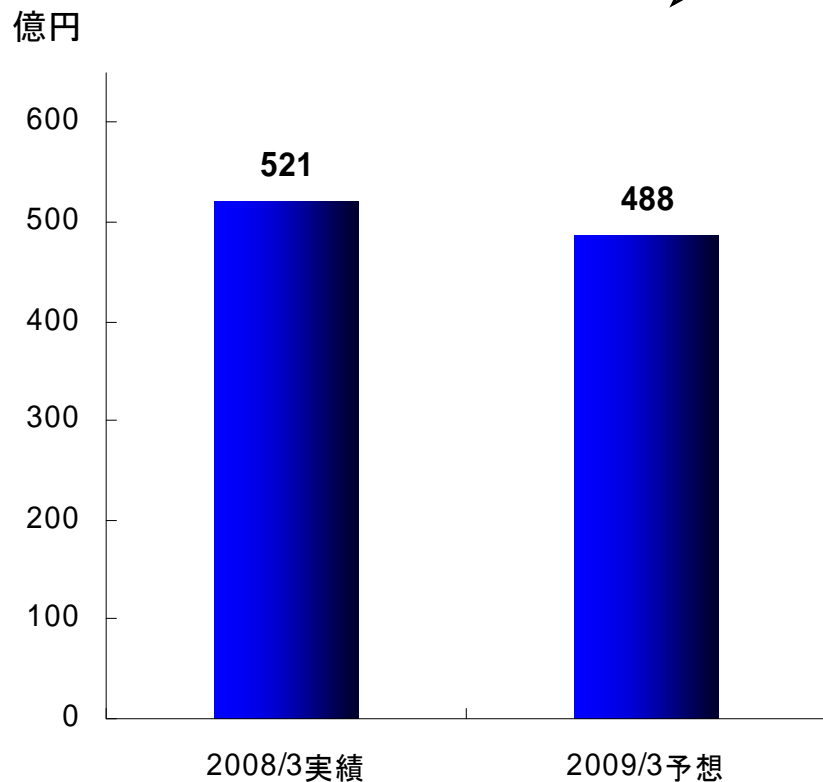
# 4-4. その他事業

## 売上・営業利益

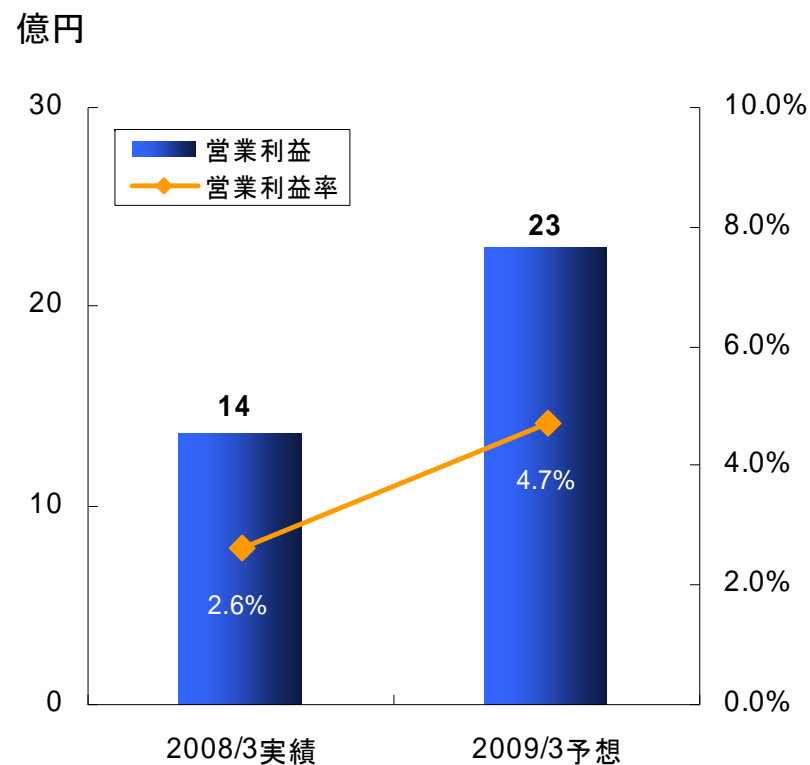
<2009年3月期 通期予想>

### 連結売上高

増減率  
△6.4%



### 営業利益



➤ PC等販売子会社の譲渡により減少する見込み

➤ 通信カラオケ・コンテンツ事業で収益の改善を見込む

※その他事業の売上は、日本での売上が大半を占めるため、地域別の記載は省略しております。

brother  
at your side

